第2次 あま市男女共同参画プラン

令和6年度特別事業評価シート

令和7年6月 あま市

■あま市男女共同参画プランについて

1 プラン策定の趣旨

本プランは、あま市男女共同参画推進条例に基づき、男女共同参画、DV防止、女性の活躍推進に向けた具体的な施策を総合的・体系的に実施するために策定しています。

2 プランの性格等

- ・計画期間は、令和4(2022)年度を初年度とし、令和13(2031)年度を目標年度とします。(10年計画)
- ・策定及び進行管理は、あま市男女共同参画審議会、あま市人権施策推進本部等、幅広い知見と総合的な検討体制のもとで行います。
- ・本プランの施策は、本市が主体となって関係部局相互が連絡調整を図りながら全庁で総合的に取り組むものとします。なお、関係機関・団体や企業への働きかけも取組対象とします。

3 プランの進行管理と評価

・1年に1回、実施状況を確認し公表します。また、市民意識調査をおおむね5年ごとに実施し、施策の効果を検証してプランを見直します。

■あま市男女共同参画プランの年次評価について

評価対象	評価項目	評価者	審議会での取り扱い		
全事業	・達成度(A:8割以上、B:4~7割、C:3割以下)・今後の方針(内容、経費)	担当課	-報告、説明		
特別事業 (重点的に評価する事業)		担当課 ただし事業指標については、アンケート結果等の 客観的評価(アウトカム)を優先して定めてくださ い。	・報告、説明 ・審議会から評価コメントをフィー ドバック		

すべての施策の実施において男女共同参画による視点を持つために ~ジェンダー分析、ジェンダー主流化とは何か~

政策・施策のジェンダー分析とは、社会や家庭における男女の役割・立場が異なっている現状を把握し、施策が男女にどのように異なる影響を与えるか、例えば、現状の格差を拡大するか、縮小するかを分析することである。税制、社会保障制度、賃金制度等、女性の就業を始めとする個人のライフスタイルの選択に大きなかかわりを持つことが指摘されている制度については、このような分析が必要とされよう。ただし、これらに限らず、様々な分野においてジェンダーに敏感な視点が有意義である。

例えば、公共施設において、小さい子供を連れ歩くことが危険であったり、不便の多いような建物や接近路の設計が行われていると、子育て中の女性にとって、そこを利用するのは肉体的・精神的な負担が大きいことが予想される。また乳幼児を座らせておく場所が男性トイレにも設置されるようになれば、父親が子供連れで行動しやすくなることが予想される。

男女共同参画社会の実現のためには、あらゆる社会システムの構築とその運営に当たって、それらが実質的に女性と男性にどのような影響を与えるかを常に検討する必要がある。このように、ジェンダーに敏感な視点をあらゆる分野に定着・深化させること、また、あらゆる分野の政策・施策の実施主体がジェンダーに敏感になることをジェンダー主流化 (gender mainstreaming)と言う。

第2次あま市男女共同参画プランの体系

(目標像)

いろいろな 私でいい あなたでいい みんなが笑顔で活きるまち

基本目標1

人権尊重と男女共同参画 への意識改革

基本方針

- 1 人権の尊重と男女共同参画の 意識啓発
- 2 子どもにとっての男女共同参画
- 3 男女平等意識を育てる教育・ 学習の充実

基本目標2

あらゆる分野での 男女共同参画の推進 (あま市女性活躍推進計画)

- 4 政策決定過程への女性の 参画の拡大
- 5 様々な分野における男女共同 参画の拡大
- 6 ワーク・ライフ・バランスの実現 に向けた取組
- 7 誰もが働きやすい職場環境 づくり

基本目標3

誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進

- 8 高齢者、障がいのある人、 外国人市民等への支援
- 9 複合的に困難な状況に置かれている人々への支援
- 10 生涯を通じた女性の心とからだの健康支援
- 11 男女共同参画の視点に立った 地域防災の推進

基本目標4

あらゆる暴力の根絶 のための基盤づくり (あま市DV防止基本計画)

- 12 暴力の根絶に向けた意識啓発
- 13 犯罪防止に配慮した環境整備
- 14 被害者の実情に応じた切れ目のない支援体制の充実

男女共同参画プラン 特別評価対象事業一覧

基本目標	基本方針	事業番号	事業(取組)名	担当課
	1	5	男女共同参画の視点に立った講演会、パネル展示、セミナー等の開催	人権推進課
	1	8	男性全般を対象とした参加型講座の開催	生涯学習課
1	2	25	スクールカウンセラーや心の相談員の配置	学校教育課
	3	31	人権と男女平等をテーマにした調べ学習やグループ学習の実施	学校教育課
	4	49	審議会、委員会への女性の登用促進	関係各課
	4	51	女性職員を管理職に登用するポジティブ・アクション(積極的改善措置)の実施や女性リーダーの育成	人事秘書課
	5	56	地域活動団体に対する情報交換や交流の場の提供	企画政策課
	5	57	社会教育活動を担う女性団体への支援	生涯学習課
		59	休業や休暇、子育て期間中の短時間勤務等の制度の周知	商工観光課
2		65	集団保育が可能な障がい児保育の実施	保育課
	6	66	病児病後児保育の実施	保育課
	U	68	ファミリー・サポート・センター事業の実施	子ども福祉課
		70	放課後等デイサービス、日中一時支援事業の実施	障がい福祉課
		76	交流の場である「ふれあいカフェ(認知症カフェ)」の開催	高齢福祉課
	7	80	女性の再就職のためのセミナー等の情報提供	人権推進課
		88	シルバーカレッジ(市内在住または在勤の60歳以上の方を対象)、シルバーカレッジOB会(シルバーカレッジ卒業生を対象)の開催	生涯学習課
		89	スポーツ教室、ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会、市民走ろう歩こう会の実施	スポーツ課
	8	117	スポーツ・レクリエーション・文化活動を行う場の提供	スポーツ課
		130	生活に関わるあらゆる相談にきめ細かに対応するための母子家庭等相談の実施	子ども福祉課
3		138	性的マイノリティ(LGBT等)の人権に関する講座の開催や、啓発物の配布	人権推進課
	9	145	複合的な課題やニーズに対応するための重層的支援体制の整備	関係各課
	10	158	出産後の育児に関する悩みの軽減、虐待の予防を目的とした「こんにちは赤ちゃん訪問」の実施	健康推進課
	11	171	市の防災会議への女性の登用	危機管理課
		172	ジェンダーの視点による災害対策強化のための啓発、連携体制の推進	人権推進課
	12	176	女性に対する暴力をなくす運動期間(11月12日~25日)について広報に掲載し、パネル展及び市施設のパープルライトアップを実施	人権推進課
4	13	184	地域防犯灯の設置支援	危機管理課
-	14	197	こんにちは赤ちゃん訪問(乳児全戸訪問)の実施	健康推進課
	17	198	妊娠・子育てつなぐサポート事業としての要支援検討会の開催	健康推進課

事業番号	5	事業名	男女共同	参画の視点	に立った詩	講会、パネル展:	示、セミナー	等の開催	担当課	人権推	推進課
プランにおける	基本目標	1人権尊重	重と男女共[司参画への	意識改革	基本方針1	人権の尊重	重と男女共	同参画の意	意識啓発	
位置づけ	施策②男	女共同参i	画に関する	理解を深め	るための意	意識啓発と情報の	D提供				
施策概要						セミナー等を開催 レ展、男女共同な		·、男女共同	司参画職員	員研修)	
【1】事業実績	評価	① 6 年度	計画 →	②達成風	隻 → ③	変に 実績内容 →	47年	度計画方針	+		
	(1計画			②達成度		(;	3実績			④方針
開催日、内容 ①令和6年 男女共 ②令和6年	16年6月24日 於所1階市民 共同参画の 战員研修 市人権施策 計一部会員	ヨ (月) ~ R活動スペー Dキホソー防 推進本部 32人 (金)	ス 災編 –	金)	A:8割以上	男女共同参画職 対象者 あま 32人 開催日、内容 ①令和6年9 「男女: ②令和7年2	16年6月24日 2所1階市民 は共同参画の は員研修 市人権施策 9月5日 (本 共同参画の	3 (月) ~ 活動スペーン Dキホン・防 推進本部 () 変遷と課題 金)	【 災編 - 引女共同参[継続
成功した点、前					,	先していた 人和の	· 左	~1	イチ ﻠフ∧° フ	ナズ田」ト	.U.Q.(.o.±
男女共同参画が民に向けた啓発が			州5年度よ	ごは美和又1	比宏思で実	施していた。 令和6	千度は、ケ	古「陷巾氏)	古剉スペー人	を活用し、よ	ッ多くの巾
【参考指標】						【予算/実績】					
 催事に参加した。 職員研修参加 						講演会、パネル属	虔、セミナー、 I	職員研修に	かかる報償	費、需用費、	委託料等
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
0	82.5%	65.6%	100.0%			予算(千円)	401	66	52	50	
2	96.7%	69.7%	94.3%			実績(千円)	232	40	46		
【2】事業配慮	度評価	男女共同	<mark>参画の視点</mark>	による評価	西(該当す	する項目に〇)					
1. 事業の企画	i·立案·実					は双方が参画(他部署との)連携協力	を含む)し	た。	0
						-シップの機会を.	与えた。				0
3. 事業の対象	となる人々	やその現状	で男女別(性差別の経	こデータをと	って把握し	た。 報発信の表現・手	段 時間半	育旧•心	灌の便 ウ笙) を た	0
						る影響はなかった		、日元、川	反の区且守	ر د∪اده	○ ○ 5点
事業に対する男	<mark>女共同参</mark>	画審議会	<mark>からの評価</mark>	コメント							νm

事業番号	8	事業名	男性全般	を対象とし	た参加型詞	構座の開催			担当課	生涯等	学習課	
プランにおける	基本目標	1人権尊重	重と男女共[司参画への	意識改革	基本方針1	人権の尊重	と男女共	同参画の意	意識啓発		
位置づけ	施策③男	性の意識で	炎革や家事	参加に向	けた取組							
施策概要	生涯学習	講座の1	コマとして、5	男性全般を	対象とした	参加型講座を開	開催する。					
【1】事業実績	評価	① 6 年度	計画 →	②達成原	隻 → ③	実績内容 →	④7年	度計画方針	+			
		1計画			②達成度		(3	実績			④方針	
生涯学習講座において、男性全般を対象とした参加型講座を開催した。開催日:5月12日・19日・26日(日)場所:美和公民館 1階調理室時間:午前10時~正午対象:一般(18歳以上)定員:24名参加:5名内容:和洋中、すぐに実践できる家庭料理を作った。												
成功した点、前	年から改善	善した点、詩	課題・問題。	点(自由語	2入)							
【参考指標】						【予算/実績】						
❶ 講座回数						講師謝礼						
② 定員に対する						טו נמיוים ביום						
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
0	5回	5回	3回	6回		予算(千円)	35	35	21	42		
2	55.0%		20.0%			実績(千円)	35		21			
【2】事業配慮	度評価	男女共同	参画の視点	たによる評価	西(該当す	る項目に○)						
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画(他部署との連携協力を含む)した。 2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。 3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。 4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫(情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等)をした。 5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											0	
事業に対する男	女共同参	画審議会	<mark>からの評価</mark>	コメント								

事業番号	25	事業名	スクールカ!	ウンセラーヤ	心の相談	員の配置			担当課	学校教	效育課
プランにおける	基本目標	1人権尊重	重と男女共[司参画への	意識改革	基本方針 2	子どもにとっ	ての男女丼	共同参画		
位置づけ	施策⑥児:	童虐待等の	の早期発見	と未然防	止						
施策概要	学校支援	会議を開き	き、スクールカ	カウンセラー	·相談員((市雇用)を派遣	遣する。				
【1】事業実績			計画 →	②達成原	隻 → ③	実績内容 →		度計画方針	†		
	(1	D計画			②達成度			3実績			④方針
校長からの要請か合で、希望があっ 相談員及びスクー	て調整がつけ	がば教育相談	淡センターの		C:3割以下	緊急ケース会議を ルソーシャルワーカ・ 員の参加要請が 議は無かった。	ーが会議に参	≽加したが、セ	交長から心理	里支援相談	継続
成功した点、前	年から改善	した点、誤	課題·問題,	点(自由詞	7人)						
【参考指標】		무 */r				【予算/実績】 教育相談支援	弗 <i>(</i> DC±2	<u> </u>			
① 心理支援相② 心理支援相			会議に参加	ルた回数		教育相談室費	'	•	6から)		
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	が行品が工具	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
0	3人	3人	8人	7人		予算(千円)	6,013	5,659	11,146	8,805	
9	0回	0回				実績(千円)	5,448	5,529	10,203	,	
【2】事業配慮				たによる評価	L <mark>価(該当す</mark>	る項目に〇)	-,	-,	,		
1. 事業の企画 2. 意思決定の 3. 事業の対象 4. 男女双方が 5. 事業の実施	・立案・実が場への女性 場への女性 となる人々 川用しやすい により固定	施にあたり、 Eの参画をやその現り やその現り よう、または 的性別役	男女双方 促した。また 代を男女別! 性差別の解 割分担意証	の意見を間には男女均にデータをと にデータをと は消に向けた 戦を間接的	聞いた、また 等なリーダー こって把握し こエ夫(情幸	は双方が参画 -シップの機会を-	与えた。 段、時間帯				〇 〇 〇 3点
事業に対する男	女共同参 ·	画審議会	<mark>からの評価</mark>	コメント							

事業番号	31	事業名	人権と男	女平等をテ	ーマにした記	周ベ学習やグル-	-プ学習の	実施	担当課	学校教	教育課	
プランにおける	基本目標	1人権尊重	重と男女共同	司参画への	意識改革	基本方針3	男女平等	意識を育て	る教育・学	習の充実		
位置づけ	施策⑦男	女平等の意	意識を育て	るための教	育の充実							
施策概要	総合的な	学習·道徳	の時間を通	通して人権(こついての学	色習を実施する。						
【1】事業実績	評価	① 6 年度	計画 →	②達成月	隻 → ③	実績内容 →	④7年	度計画方象	計			
	(1計画			②達成度		(3実績			④方針	
総合的な学習・する。	小学校12校中学校5校すべての学校で人権や男女平等を テーマにした学習を実施した。 名教科において、「人権尊重の教育の視点」を取り入れた授業を 実践した。 道徳では、人との関わりにおいて思いやりの心を育てた。 総合的な学習では、体験的に地域の自然、人々や文化などと 関わることで人権意識を育てている。 特別活動では、小学校においては異年齢集団活動を通して、自 他を認め、互いの立場や考えを尊重できる場を設定した。 ハッピートークを始めとした出前授業や、七宝中学校で実施してい る「しっぴータイム」をはじめ多くの学校が独自の取り組みを実施す ることにより、自己肯定感を高めたり、社会のあらゆる差別・偏見 をなくしたりするために人権意識を高める教育活動を行った。 成功した点、前年から改善した点、課題・問題点(自由記入)											
成功した点、前	「年から改善	<mark>善した点、</mark> 調	課題・問題 点	<mark>点(自由ii</mark>	2入)							
【参考指標】						【予算/実績】						
❶ 実施学校数	Ż					(当該事業にか	かかる予質	特定不能))			
Q									ı			
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
0	17校	17校	17校	17校		予算(千円)	/_	/		/_		
2						実績(千円)						
2. 意思決定の 3. 事業の対象 4. 男女双方が	・立案・実 場への女性 となる人々 利用しやすい により固定	施にあたり、 生の参画を1 やその現り よう、または 的性別役も	男女双方 促した。また 大を男女別に 性差別の解 割分担意記	の意見を聞 は男女均 にデータをと 詳消に向けた 戦を間接的	引いた、また 等なリーダ- って把握し :工夫(情報	る項目に○) は双方が参画 -シップの機会を- た。 収発信の表現・手 5影響はなかった。	与えた。 段、時間帯				〇 〇 〇 4点	

事業番号	49	49 事業名 審議会、委員会への女性の登用促進 担当課										
プランにおける	基本目標	2 あらゆる	分野での男	女共同参	画の推進	基本方針4	政策決定证	過程への女	性の参画の	D拡大		
位置づけ	施策⑩審	議会等への	D男女共同	参画の促	進							
施策概要						第 2 次あま市男 ご登用する。	女共同参	画プラン」に	おいて令和	113年度ま	でに30%	
【1】事業実績	評価	① 6 年度	計画 →	②達成原	隻 → ③	実績内容 →	④7年	度計画方針	计			
	(1計画			②達成度		(3実績			④方針	
審議会、委員会等の委員の選出時に女性を積極的に登用するよう、人権施策推進本部会議で啓発し、全職員が共有できるようにする。 A:8割以上 成功した点、前年から改善した点、課題・問題点(自由記入)												
	<mark>年から改善</mark>	と した点、 誤	·問題,	点(自由語	2入)							
【参考指標】						【予算/実績】						
1 審議会等(2 啓発回数	地方自治	法第20	2条の3)	への女性の	の登用率	予算を伴わない	١					
9 日光回数	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
0	27.2%	28.5%	27.9%			予算(千円)						
2	1回	1回	1回			実績(千円)						
【2】事業配慮				による評(L <mark>西(該当す</mark>	る項目に〇)						
2. 意思決定の 3. 事業の対象 4. 男女双方が和 5. 事業の実施	場への女性となる人々川用しやすいにより固定	生の参画を付かるの現り やその現り よう、または 的性別役割	促した。また 注を男女別に性差別の解 性差別の解 割分担意記	は男女均 にデータをと 詳消に向けた 戦を間接的	等なリーダ- って把握し :エ夫(情幸	は双方が参画 -シップの機会を- た。 最発信の表現・手 5影響はなかった	与えた。 ・段、時間帯				〇 〇 〇 〇 4点	
事業に対する男	女共同参	画審議会	からの評価	コメント								

事業番号	51	事業名	女性職員を管理	里職に登用するだ	ポジティブ・アクシ	ョン(積極的改善指	#置)	の実施や女性	リーダーの育成	担当課	人事和	必書課
プランにおける	基本目標	2 あらゆる	分野での男	女共同参	画の推進	基本方針 4	J	政策決定i	過程への女	性の参画の	D拡大	
位置づけ	施策⑩審	議会等への	D男女共同	参画の促	進							
施策概要	市役所の	女性職員	を管理職に	登用するポ	゚゚ジティブ・ア	クションの実だ	拖					
【1】事業実績	評価	① 6 年度	計画 →	②達成歷	隻 → ③	実績内容	\rightarrow	④7年	度計画方象	計		
	(1)計画			②達成度			(3実績			④方針
女性職員の能力や適性を考慮し、管理職に登用する。 A:8割以上 新たに女性職員 2 人を管理職(主幹 2 人) に登用した。 継続 成功した点、前年から改善した点、課題・問題点(自由記入) 女性職員の能力や適性を考慮し、積極的に管理職に登用するにあたり、一般事務職の女性職員の割合が少ないため、女性の管理職に補者が少ないことが課題。今後長期的な視点で改善を図る必要がある。												
女性職員の能力	力や適性を	考慮し、積	極的に管理	理職に登用	目するにあた		务職の	の女性職員	員の割合か	が少ないため)、女性の智	営理職候
(参考指標)	.C.J.	フ仮文期	可る祝品(、以当で凶		る。 <mark>【予算/実</mark> 網	清】					
	注査級担	当職以上	こ占める女'	性職員の害								
0						予算を伴わる	はい					
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度			4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
0	38.2%	39.4%	41.3%	43.0%		予算(千円)					
2						実績(千円	<u>)</u>					
【2】事業配慮	度評価	男女共同	参画の視点	たによる評価	西(該当す	る項目に〇))					
1. 事業の企画									の連携協力	力を含む)	した。	
2. 意思決定の							<i>きを与</i>	ラえた。 				
3. 事業の対象 4. 男女双方が和	田 やま!	アケの現り	を男女別	こナーグをと	つく地握し	に。 弱発信の主用	· 千 I	段 時間半	育旧.介	誰の価ウ笋) を! た	0
5. 事業の実施	により固定	的性別役	は左がの 割分担意識	能を間接的	上大(頂き	水光にいる児 影響はなかっ	ナルった。	权、时间市	、日元・川	暖の関且寺) ~U/C.	0
							0					3点
事業に対する男	女共同参	画審議会	<mark>からの評価</mark>	コメント								

事業番号	56 事業名 地域活動団体に対する情報交換や交流の場の提供 担当課 企画政										汝策課
プランにおける	基本目標	2 あらゆる	分野での男	女共同参	画の推進	基本方針 5	様々な分里	野における男	男女共同参	画の拡大	
位置づけ	施策⑫男	女共同参i	画の視点に	立った地域	找活動団体	への支援の充実	<u> </u>				
	地域で活	動する市民	活動団体	の拠点とな	る施設「あ	ま市市民活動セ	!ンター」を中	心として、	市民活動	こ関する情	報、団体
施策概要						動祭」を始めとし7		きを通じて、	地域活動[団体及び市	5民活動
						の交流の場を提					
【1】事業実績			計画 →	②達成月	隻 → ③)実績内容 →	④7年	度計画方針	计		
		1計画			②達成度			3実績			④方針
	Instagram 113件 (R5:69件) 公式LINE 15件 (R5:11件) メールマガジン 3件 ※5月で配信停止 (R5:20件) ボランティア募集メール等 6件 (R5:22件) 248合計件 (R5:194件) ●登録団体からの情報収集件数 ロ頭、チラシ、電話、メール、等 合計150件 (R5:387件) ※団体からチラシの提供があった数を集計した。 ※ニュースレター4月号でイベントカレンダーへの情報提供を停止したため減少した。 参考:来館者集計の「情報提供・情報収集・見学」は11月末で328件。 ●市民活動祭の開催 テーマ 「つながりから生まれる『元気な未来!』」 日時 令和6年10月12日 (土) 10:00~15:30 場所 あま市文化の杜 (美和文化会館) 内容 【大ホール】 総参加者数 約3,800名 (R5 約3,600名) (一般来場者、プログラム参加団体関係者、学生・一般ポランティア、スタッフ他含む) 出展 (店) ブース数 85プース (R5:63プース)										
成功した点、前	年から改善	_{善した点、語}	関・問題 に	点(自由部	2入)						
 【参考指標】						【予算/実績】					
市民活動祭	の一般参加	者による日は	頁ボランティア	'に参加して	いるかの数値		, ± 44 ± 1	~	T = 1 00 107 1	ч #	
❷ 市民活動祭の						市民活動センタ	′事業質オ 	っよひ市民: 	古動祭運图 	ri賀 	
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
0	30.0%	48.0%	48.0%			予算(千円)	12,228	12,416	12,782	12,996	
2	25.0%		_			実績(千円)	12,227	12,416	12,782		

事業番号	56	事業名	地域活動団体に対する情報交	換や交流の場	の提供	担当課	企画政	文策課
プランにおける	基本目標	2 あらゆる	分野での男女共同参画の推進	基本方針5	様々な分野における男	女共同参	画の拡大	
位置づけ	施策⑫男	女共同参	画の視点に立った地域活動団体	への支援の充	実			
施策概要	等の連携	・交流の場	活動団体の拠点となる施設「あ の提供を行うとともに、「市民活፤ ぶく周知し、参加した市民や団体	動祭」を始めと	した交流事業を通じて、			
【2】事業配慮	度評価	男女共同	参画の視点による評価(該当す	る項目に○)				
1. 事業の企画	・立案・実	施にあたり、	男女双方の意見を聞いた、また	は双方が参画	i(他部署との連携協力	ӯを含む)し	<i>」</i> た。	0
2. 意思決定の	場への女性	生の参画を	促した。または男女均等なリーダ-	-シップの機会	を与えた。			0
			₹を男女別にデータをとって把握し					0
			性差別の解消に向けた工夫(情報			籆の便宜等)) をした。	0
5. 事業の実施	により固定	的性別役	割分担意識を間接的に助長する	影響はなかっ	た。			0
								5点
事業に対する男	女共同参	画審議会	からの評価コメント					
_								

事業番号	57 事業名 社会教育活動を担う女性団体への支援													
プランにおける	基本目標	2 あらゆる	 分野での男	女共同参	画の推進	基本方針5	様々な分野	野における男	男女共同参	画の拡大				
位置づけ	施策⑫男	女共同参i	画の視点に	立った地域	成活動団体	 への支援の充実	<u> </u>							
施策概要	あま市女性	生の会に対	し補助金を	交付するこ	ことにより、3	女性の社会参画	促進や社会	会教育及び	が地域社会	の発展を図	3 る。			
【1】事業実績	評価	① 6 年度	計画 →	②達成图	隻 → ③)実績内容 →	④7年	度計画方針	计					
	(1計画			②達成度		(3実績			④方針			
ホ 廃 主 夏 全主 会チ 会主 ウ田会に田会に田会ま田会に田会に田会に田会に田会に田会に田会に田会に田の田 講 り 場講 場 テ 場講 場 一日 り 月地 製 一日 り 月地 親 一日 り 日 地 親 一日 り 日 地 親 一日 り 日 は 一日 も の に ま 一日 も の に か 一日 を り 日 地 親 一日 教 一日 世 か に か に か に か に か に か に か に か に か に か	11月 室 ス 写 ス 写 ス 日 ス 日	義室 1・2 (日) 午後 ホールホワイエ 年り」 3・21日(火) ⁴ 修室	1 時から 3 時	から正午	B:4~7割	参加者数: 70名 ・主催講座「楽しいお料理 日時: 1回目: 令和	会」 19日(金)・5月 19日(金)・5月 19 は 講義室1・2、2 20日・7月4日(オ 18 講義室3 7日(日)午後11 18 講義室1 16年9月14日(土 17 センター	16日 (木) 大会議室1 木) 午前9時30分 時30分~午後3時 3 上) 午前9時30分~) 午前9時30分~	~正午 F30分 ~午後1時 ~午後1時	施設)	継続			
成功した点、前	中かり欧吾	等した点、説	成•问起点											
【参考指標】						【予算/実績】								
① あま市女性	の会が主催	する事業数	文			講師謝礼、施訂		消耗品						
② 会員数	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度									
0	6事業		9事業	7 + 汉	0十尺	予算(千円)	200	200	200	200	8年度			
2	103人		133人			実績(千円)	129	177	200	200				
【2】事業配慮				: /- トフ=亚/:	≖ <i>(</i>=たい/ -	「多項目に〇)	129	1//	∠00					
1. 事業の企画 2. 意思決定の 3. 事業の対象 4. 男女双方が	・立案・実 場への女性 となる人々 利用しやすい	施にあたり、 生の参画を やその現り いよう、または	男女双方 足した。また を男女別し 性差別の解	の意見を聞 は男女均: こデータをと 消に向けた	引いた、また 等なリーダ- って把握し 工夫(情報	は双方が参画 -シップの機会を-	与えた。 段、時間帯				〇 〇 〇 3点			

事業番号	57											
プランにおける	基本目標	2 あらゆる	分野での男女共同参画の推進	基本方針5	様々な分野における男	女共同参	画の拡大					
位置づけ	施策⑫男	女共同参	画の視点に立った地域活動団体	への支援の充力	実							
施策概要	あま市女性	生の会に対	し補助金を交付することにより、タ	女性の社会参属	国促進や社会教育及 <i>び</i>	が地域社会	の発展を図る。					
事業に対する男	女共同参	画審議会	からの評価コメント									

事業番号	59	事業名	休業や休日	假、子育で	期間中の	短時間勤務等の	制度の周囲	ŧ I	担当課	商工額	見光課
プランにおける	基本目標	2 あらゆる	分野での男	女共同参	画の推進	基本方針 6	ワーク・ライフ	フ・バランスの)実現に向	けた取組	
位置づけ	施策⑬ワ-	-ク・ライフ・	バランスの音	音及啓発							
施策概要	広報、市名	公式ウェブサ	ナイト等による	る情報提供	共を実施す [。]	3					
【1】事業実績	評価	① 6 年度	計画 →	②達成原	隻 → ③)実績内容 →	④7年月	度計画方象	†		
		1計画			②達成度		(3	多実績			④方針
広報、市公式ウェ				5. (白山)	A:8割以上	愛知県労働福祉「ワーク・ライフ・バ					継続
【参考指標】						【予算/実績】					
1 国・県または2	関係団体:	からの依頼	数			情報提供にかた	いる費用				
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
0	1件	1件	1件			予算(千円)	0	0	0	0	
0						実績(千円)	0	0	0		
【2】事業配慮	度評価	男女共同	<mark>参画の視点</mark>	による評価	── 価(該当す	る項目に○)					
1 事業の企画	・ 立 室 ・ 宝 1	施にあたり	里女双方	の音貝を問	引いた また	け双方が参画	(他部署と	の連携協力	」を含む)し	した。	
2. 意思決定の	場への女性	生の参画を	促した。また	:は男女均	等なリーダ-	-シップの機会を	与えた。				
3. 事業の対象 4. 男女双方が利						た。 _冢 発信の表現・手	段、時間帯	、育児•介	葉の便宜等) をした	\cap
5. 事業の実施	により固定	的性別役	割分担意識	哉を間接的	に助長する	る影響はなかった	0 10 10 10	1170 JIE	人,人口寸	, 20,0	<u> </u>
											1点
事業に対する男	女共同参	画審議会	からの評価	コメント							

事業番号	65	事業名	集団保育	が可能な阿	章がい児保	育の実施			担当課	保育	育課
プランにおける	基本目標	2 あらゆる	分野での男	女共同参	画の推進	基本方針6	ワーク・ライフ	フ・バランスの	D実現に向	けた取組	
位置づけ	施策⑭多	様な保育	ナービスの充	実							
施策概要	軽•中程原	度の集団保	育が可能な	な障がい児	及び食物	アレルギーのある!	己童の保育	を実施する	0		
【1】事業実績	評価	① 6 年度	計画 →	②達成原	隻 → ③	実績内容 →	④7年	度計画方針	†		
	(1計画			②達成度			多実績			④方針
軽・中程度の集団公立保育園 私立認定こども園	9園実施	施	見の保育を実	译施。	A:8割以上	場所:あま 議題:「保 講師:藤材	も園:5園 ・ 主連絡 で が 開 日 で で が 開 日 で で が 開 日 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	こついて について 一後 2 時より 会議室 い」と子どもの 上学部社会社 に施委員会」 こついて 13週審査にこ	D「おもい」を 冨祉学科准 の開催 4[Dいて	教授)	継続
成功した点、前	<mark>年から改</mark> 書	善 <mark>した点、認</mark>	<mark>₹題・問題</mark> ,	点(自由語	2入)						
【参考指標】 ● 児童数						【予算/実績】					
公里数会議開催数						障がい児等保育	育事業費補	助金			
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
0	147人	129人	142人			予算(千円)	10,242	13,590	16,252	17,036	
2	11回	16回	16回			実績(千円)	15,222	17,239	19,967		
【2】事業配慮						る項目に〇)					
						は双方が参画		の連携協力]を含む)	ノた。	0
2. 意思決定の 3. 事業の対象	場への女性 となる人々	Eの参画を やその現場	促した。また ドを男女別!	にデータをと	寺なリーター って把握し	-シップの機会を- た。	与スた。				\bigcirc
4. 男女双方が和	川用しやすい	いよう、または	性差別の解	7消に向けた	工夫(情報	ん。 収発信の表現・手	段、時間帯	、育児・介記	護の便宜等) をした。	0
5. 事業の実施	により固定	的性別役	割分担意調	戦を間接的	に助長する	5影響はなかった。	0				0
事業に対する男		両室業人	からの悪体	コメント							4点
尹未に刈りる先	· 女共門奓	凹番誐云	い _つ の計画	אלער							

事業番号	66	事業名	病児病後	児保育の	実施				担当課	保育	課
プランにおける	基本目標	2 あらゆる	分野での男	女共同参	画の推進	基本方針6	ワーク・ライフ	フ・バランスの	D実現に向	けた取組	
位置づけ	施策⑭多	様な保育!	ナービスの充	実							
施策概要	保護者の就	労等のために	家庭で保育	等ができない	\児童で病気	または病気の回復	期にあり、集[団での保育等	穿が困難な児	皇童を一時的	に預かる。
【1】事業実績	評価	① 6 年度	計画 →	②達成原	隻 → ③	実績内容 →	④7年月	度計画方象	†		
	(D計画			②達成度		(3	実績			④方針
実施場所:2か見あま市民病院内ふたば病児保育質	(定員3人				A:8割以上	【実施場所に、 (病児み) (病児み) (病児み) (京本な修34 会主会内参配を、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内育 加病は 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11	6人) 病児保育室 究大会in原 ~7月15日(全国※オンライ 資講演・会長 病院内)	児島」 月・祝) 2育協議会 ン参加 講演等	、 の周知・	継続
成功した点、前	年から改善	<mark>もした点、語</mark>	関・問題 に	<mark>点(自由記</mark>	2入)						
【参考指標】						【予算/実績】					
● 児童数						障がい児等保育		计分			
❷ 会議開催数	(ı		7 尹禾貝無	的亚			
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
0	147人	129人	142人			予算(千円)	10,242	13,590	16,252	17,036	
2	11回	16回	16回			実績(千円)	15,222	17,239	19,967		
【2】事業配慮	度評価	男女共同	参画の視点	たによる評価	西(該当す	る項目に○)					
						は双方が参画		の連携協力	」を含む)「	した。	0
2. 意思決定の 3. 事業の対象						-シップの機会を- +	与えた。				0
L						た。 _服 発信の表現・手	段、時間帯	、育児・介護	養の便宜等)をした。	0
						多影響はなかった。		. 1370 711	~~ <u>~</u> ~ ~ ~	,,	0
											5点
事業に対する男	女共同参	画審議会	からの評価	コメント							

事業番号	68	事業名	ファミリー・	サポート・セ	ンター事業	の実施			担当課	子どもネ	富祉課
プランにおける	基本目標	2 あらゆる	分野での男	女共同参	画の推進	基本方針6	ワーク・ライフ	フ・バランス(D実現に向	けた取組	
位置づけ	施策⑮地	域における	子育て支援	愛の環境づ	くり						
施策概要	ファミリー・サポ-	-ト・センター事	業の会員が安心	して相互援助	を行えるよう、名	会員を対象に育児に関	する知識・技術	を身につけるたと	めの研修会・会	報誌の発行等を	を実施する。
【1】事業実績	評価	① 6 年度	計画 →	②達成原	芰 → ③	実績内容 →	④7年	度計画方針	†		
	(1計画			②達成度			多実績			④方針
・会員数1,041人 (あま市751人、 ・活動件数2,728 (あま市2,073件 ・援助会員員登・ス・ ・依頼報報告・ス・ ・活動報告・回 ・情報誌発行2回・インスタグラムを流	大治町290 件 :、大治町65 講座10回 説明会12回 レアップ研修]] 舌用しPRを	55件)				・会員数1,047人 (あま市743人、 ・活動件数2,741 (あま市1,692件 ・援助頼会員員・ス・ ・依頼動報告・ス・ ・情報報誌発行1回・インスタグラムを対	大治町304. 件 -、大治町1,(講座10回 説明会12回 ルアップ研修	049件) 2回			継続
<mark>成功した点、前</mark>	中かり以音	f Uた黒、ib	₹ 起 * □J起力	ж (нш _а							
【参考指標】						【予算/実績】					
1 会員数						·委託料					
2 活動件数						X HOTT			, ,		
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
0	749 人	751 人	743 人			予算(千円)	8,647	9,165	9,538	10,359	-
2	2,221 件	2,728 件	1,692 件			実績(千円)	8,517	8,684	9,361		
【2】事業配慮						「る項目に○)					
L						は双方が参画		の連携協力	」を含む)し	った。	0
2. 意思決定の 3. 事業の対象						-シップの機会を. <i>た</i> .	ク スに。		•••••		0
4. 男女双方が和	川用しやすい	よう、または	性差別の解	消に向けた	工夫(情報	た。 _報 発信の表現・手	段、時間帯	、育児・介語	護の便宜等) をした。	0
						る影響はなかった					0
											4点
事業に対する男	女共同参	画審議会	からの評価	コメント							

事業番号	70	事業名	放課後等	デイサービス	ス、日中一	時支援事業の実	尾施		担当課	障がいれ	福祉課
プランにおける	基本目標	2 あらゆる	分野での男	女共同参	画の推進	基本方針 6	ワーク・ライ	フ・バランスの	の実現に向	けた取組	
位置づけ	施策⑰	障がいのあ	る子どもへ	のサービスの)充実	•					
施策概要		課後や休 E 等デイサービ		など修学時	間外に支持	爰が必要な修学	党児の居場所	所の確保す	る。		
【1】事業実績	評価	① 6 年度	計画 →	②達成月	隻 → ③	実績内容 →	47年	度計画方針	 		
	(1計画			②達成度		(3実績			④方針
修学時間外に支利用を勧める。	援が必要な	修学児に、	放課後等デ	イサービスの	A:8割以上	放課後等デイサ- 延べ利用人数 延べ利用日数 給付額 610,79	5,169人 55,180日				継続
成功した点、前	年から改善	善した点、認	課題・問題。	点(自由詞	2入)						
【参考指標】						【予算/実績】					
1 放課後等デ	イサービス年	F間延べ利	用人数								
2 日中一時支	援事業年	間延べ利用	一人数	I		扶助費		1			
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
0	4,357 人	4,955 人	5,169 人			予算(千円)	476,884	524,755	631,923	724,105	
2	1,136 人					実績(千円)	466,784	529,842	610,797		
【2】事業配慮						「る項目に○)					
L						は双方が参画		の連携協力	りを含む)し	した。	0
2. 意思決定の 3. 事業の対象						-シップの機会を た。	う んに。				0
4. 男女双方が和	川用しやすい	いよう、または	性差別の解	解消に向けた	工夫(情報	た。 _限 発信の表現・手	段、時間帯	ま、育児・介	護の便宜等)をした。	0
						る影響はなかった					0
											4点
事業に対する男	女共同参	迪審議会	からの評価	ーメント							

事業番号	76	事業名	交流の場である「ふれ	1あいカフェ	(認知症カフェ)」の開催	担当課高齢	富祉課
プランにおける	基本目標	2 あらゆる	分野での男女共同参	画の推進	基本方針6 ワーク・ライフ・バランス	スの実現に向けた取組	
位置づけ	施策⑲介	護者への	支援の充実				
施策概要	認知症の	人やその家	『族が地域の人や認知	症サポータ	- 等認知症の正しい知識を持った者	と相互に情報を共有し	、お互い
		う場である	認知症カフェ(あま市)	こおいては「	ふれあいカフェ」と称する)を市内で「	胃催する。	
1 】事業実績			計画 → ②達成原		実績内容 → ④7年度計画方	ī 針	
		1計画		②達成度	<u>③実績</u>		4 方針
	運営状況の	D確認をし運 げも支援して	-	A:8割以上	①ふれあいカフェ美和 延べ222人参加 場所:グループホーム第2 あま恵寿荘 開催日:毎月第3金曜日 13時30分~15②ふれあいカフェ甚目寺 延べ184人参加 場所:基目寺総合福祉日 10時~11時3③ふれあいカフェあまちゃん中萱津 延べ179人参 場 所:コミュニティプラザ萱津 開催日:毎月第4大曜日 13時30分~15場 個日:毎月第4大曜日 13時30分~15場 所:中毎月第4大曜日 13時30分~15場 所:下萱津コミュニティ防災センター開催日:毎月第4月曜日 13時30分~15場 所:下萱津コミュニティ防災センター開催日:カカンエあまちゃん 甚目寺 2人曜日時間:13時30分~15時30分 ②ふれあいカフェあまちゃん 長館 開催日:13時30分~15時30分 ③ふれあいカフェみを 場所:JA美和開催日:13時30分~15時30分 ③ふれあいカフェが、近で219人参加場所:JA美和開催日:10時~11時30分 ③ぶれあいカフェが、近で219人参加場所:JA美和開催日に10時~11時30分 ④のぶれあいカフェが、プループホームポプラ開催日:毎月第1分・15時30分 ④のぶれあいカフェボップ 延べ200人参加場所:グループホームポプラ開催日:毎月第4土曜日時間:10時~11時30分 ⑤で近所カフェボップ 延べ200人参加場所:毎月第4十年日時間に15時30分~11時30分 ⑤のぶれあいカフェをトウェーア・マイア・カード・カード・カード・カード・カード・カード・カード・カード・カード・カード	0分 加 時30分 の分 加 時30分 50人参加 加	継続

事業番号	76	事業名	☆海の提7	<u> </u>	ホハカフェ	(認知症カフェ)	の関係		担当課	高齢福	三九十三甲
尹未田力	70	尹未石	文加の物は	C 00 20 1 1014 1	- C [(1) (0)	「中心入日が上ガノエ)	」の開催		担当床	北山田口	田江山木
プランにおける	基本目標	2 あらゆる	分野での男	女共同参	画の推進	基本方針6	フーク・ライフ	フ・バランスの	の実現に向	けた取組	
位置づけ	施策⑲介	護者への支	援の充実								
施策概要	認知症の	人やその家	族が地域の	人や認知	症サポータ	-等認知症の正	しい知識を	持った者と	相互に情幸	を共有し、	お互いを
心束恢安	理解し合う	場である認	恩知症カフェ	(あま市に	おいては「	ふれあいカフェ」と	称する)を	市内で開	催する。		
成功した点、前	年から改善	Bした点、課	題・問題点	(自由記	E入)						
ふれあいカフェを	実施する団	体が2団体	は増え、前年	F度より実活	施回数を均	曽やすことができた	。市役所	で青空カフ	エを実施し、	ふれあいカ	フェの周
知啓発を実施す	することがで	きた。実施	場所の確係	保に課題が	ある。						
【参考指標】 【予算/実績】											
① 開催回数 ② ふれあいカフェ運営費補助金申請団体数(予算に対する率) 基幹包括主催カフェ運営費、カフェ運営費補助金											
② ふれあいカフ:	I運営費補		団体数(る率)	至刊 0개工能					
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
0	98回	131回	155回			予算(千円)	350	355	519	562	
2	80.0%	100.0%	87.5%			実績(千円)	173	216	455		
【2】事業配慮						する項目に○)					
1. 事業の企画	・立案・実涯	施にあたり、	男女双方	の意見を聞	引いた、また	は双方が参画	(他部署と	の連携協力	りを含む)し	<i>」</i> た。	0
2. 意思決定の	場への女性	上の参画を位	足した。また	は男女均等	等なリーダ-	-シップの機会を <i>-</i>	与えた。				0
3. 事業の対象	となる人々	やその現状	を男女別に	こデータをと	って把握し	た。					
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫(情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等)をした。										0	
5. 事業の実施	により固定	的性別役割	引分担意諳	で間接的	に助長する	る影響はなかった。)				0
											4点
事業に対する男	女共同参	画審議会	からの評価こ	コメント							

事業番号	80	事業名	女性の再	就職のため	のセミナー等	等の情報提供			担当課	人権推	推選
プランにおける	基本目標	2 あらゆる	分野での男	女共同参	画の推進	基本方針7	誰もが働き	やすい職場	環境づくり		
位置づけ	施策②男	女の平等な	は雇用に向	けた開発、	情報提供						
施策概要	女性の再	就職のため	のセミナー等	穿の情報提	供をする。						
【1】事業実績	評価	① 6 年度	計画 →	②達成原	芰 → ③	実績内容 →	④7年	度計画方錄	†		
	(1計画			②達成度			多実績			④方針
女性の再就職の	ためのセミナ・	一等のチラシ	を窓口に設う	置する。	A:8割以上	女性の再就職の	ためのセミナ-	-等のチラシ?	を窓口に設置	置した。	継続
成功した点、前	年から改善	<mark>善した点、認</mark>	課題・問題。	<mark>点(自由i</mark>	2入)						
庁舎、公民館な	など、より多	くの市民の	目に触れる	ように配慮	えした。						
【参考指標】						【予算/実績】					
1 情報提供回2]数					啓発活動にかた	いる消耗品	費等			
9	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
0	3回	3回	3回			予算(千円)	0	0	0	0	
2						実績(千円)	0	0	0		
【2】事業配慮						る項目に〇)					
1. 事業の企画	·立案·実	施にあたり、	男女双方	の意見を聞	引いた、また	は双方が参画	(他部署と	の連携協力	」を含む)し	」た。	0
2. 意思決定の 3. 事業の対象	場への女性 となる人々	Eの参画を やその現場	促した。また ドを男女別!	にデータをと	寺なリーダー	-シップの機会を た。	与スた。				
4. 男女双方が利	引用しやすい	よう、または	性差別の解	7消に向けた	工夫(情報	最発信の表現・手	段、時間帯	、育児・介	獲の便宜等) をした。	0
5. 事業の実施	により固定	的性別役	割分担意調	戦を間接的	に助長する	影響はなかった	0				〇 3点
事業に対する男	女共同参	画審議会	<mark>からの評価</mark>	コメント							νm

事業番号	88	事業名	シルバーカレッジ(市	内在住または在勤の	の60歳以上の方を対	†象)、シルバ−カレッジOB会((シルバーカレッジ卒業	生を対象)の開催	担当課	生涯等	学習課
プランにおける	基本目標3誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進 基本方針8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等へ施策筠高齢者の社会参画促進										の支援
位置づけ	施策②高	齢者の社会	会参画促進								
施策概要		生きがいや		舌動に貢献	^犬 するととも	に、高齢者が本	事業を通じ	て培った知	識を生かし	、地域発展	その一助と
【1】事業実績	評価	① 6 年度	計画 →	②達成原	隻 → ③)実績内容 →	47年	度計画方錄	†		
	(1計画			②達成度			多実績			④方針
講座全2	S流の場を摂 対を図る。 8日(土) 1回 バーカレッジ 名	提供するととも から1月25日 教室 他	6に、地域社	会に貢献	B:4~7割	講 座 全2	を流の場を提 対を図った。 8日 (土) <i>t</i> 1回 バーカレッジ イ	供するととも から1月25日 文室 他	に、地域社	会に貢献	継続
1909307E/MC 133	173		NAS TEJASA	W (ППП							
【参考指標】						【予算/実績】					
 講座回数 定員に対する 	ス糸加弦					講師謝礼					
日 足員に対する	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
0	20回		21回			予算(千円)	349	320	350	306	
0	80.0%		80.0%			実績(千円)	308	300	347		
【2】事業配慮				による評(L <mark>西(該当す</mark>	る項目に〇)					
1 事業の企画	・立案・実	施にあたり、	男女双方	の意見を問	引いた、また	は双方が参画	(他部署と	の連携協力	」を含む)	した。	0
2. 意思決定の	場への女性	生の参画を	足した。また	は男女均	等なリーダ-	-シップの機会を	与えた。				0
3. 事業の対象 4. 男女双方が和	となる人々	ヤその現り いよう、または	で男女別(性差別の解	こナータをと 詳に向けた	つ(把握し	た。 報発信の表現・手	段、時間帯	、育児・介	護の便宜等) をした。	0
5. 事業の実施	により固定	的性別役	割分担意識	哉を間接的	に助長する	る影響はなかった	0	. 1370 711	~~ <u>~~</u> ~	, 20,20	0
											4点
事業に対する男	女共同参	画審議会	からの評価	コメント							

事業番号	89	事業名	スポーツ教室	いっきょうがった。	操の集い、市	民歩け歩け会、市民	民走ろう歩こう	5会の実施	担当課	スポー	-ツ課
プランにおける						基本方針8					
位置づけ	施策②高	齢者の社会	会参画促進								
施策概要	スポーツ教	室、ラジオ体	本操の集い	、市民歩に	が歩け会、で	市民走ろう歩こう	会を開催し	、高齢者の	D社会参画	を促進する	ó.
【1】事業実績	評価	① 6 年度	計画 →	②達成原	隻 → ③)実績内容 →	④7年	度計画方針	†		
	(1計画			②達成度		(3	実績			④方針
高① ② 内開場開場 市内開場 市内開場 市内開場 市内開場 市内開場 市内開場 市内開	室体 10 16 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25	助 射 自 月 14日ンア は は は は は は は は は は は は は	的な介護予覧 ナ(東側) 作り び体力の係 ナ 4km)をウォ	−キング m)を自分の	A:8割以上	高① ② 内開場開場 市内開場 市内開 市内力開者の 催 民 催 催 催 民 催 民 催 民 に催むの存日所数 ジ容日所日所日所 体容日所 歩容日 走容合日比健 1 5 表月あ 測市 9 甚 歩岐 10 ・木で 1月 かまった 1 まった	を体の日に、の本日には、日本日に、日本日に、日本日に、日で、日で、日で、日で、日で、日で、日で、日で、日で、日で、日で、日で、日で、	h教自月 、	4人参加 的な介護予防 ナ(東側) よ) 作り 147名 中止 及び ナ 14km)をウォー コース(一周2kr	l持・増進 ーキング m)を自分の	継続
成功した点、前	「年から改善	<mark>善した点、</mark> 課	題・問題に	点(自由語	己入)						
【参考指標】						【予算/実績】					
① ラジオ体操の ② 市民走るう。						報償費、傷害係		—— 託料、車借	—— 昔上料、各種	—— 種借上料	
② 市民走ろう・歩こう会参加者数 (全体) 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 8年度 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 8年度 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 8年度 4年度 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 8年度 4年度 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 8年度 4年度 4年度 4年度 8年度 4年度 4年度 4年度 4年度 4年度 4年度 4年度 4年度 4年度 4										8年度	
1 409 人 635 人 303 人 予算 (千円) 961 1,101 1,181 1,039											
2	229 人	雨天中止	166 人			実績(千円)	218	664	758		
【2】事業配慮						る項目に〇)					
1. 事業の企画	i·立案·実	施にあたり、	男女双方	の意見を聞	引いた、また	は双方が参画	(他部署と	の連携協力	りを含む)し	<i>」</i> た。	0
						-シップの機会を <i>た</i> .	与スた。				0
	3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。 4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫(情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等)をした。										
						る影響はなかった					0
											4点

事業番号	89	事業名	スポーツ教室、	ラジオ体操の集い、市	民歩け歩け会、ア	市民走ろう歩こう会の実施	担当課	スポーツ課
プランにおける	基本目標3	誰もが安心	して暮らすことが	できるまちづくりの推進	基本方針8	高齢者、障がいのある	人、外国。	人市民等への支援
位置づけ	施策您高	齢者の社会	会参画促進					
施策概要	スポーツ教	室、ラジオケ	体操の集い、	市民歩け歩け会、ī	市民走ろう歩る	ろ会を開催し、高齢者の	D社会参画	を促進する。
事業に対する男	女共同参	画審議会	からの評価コ	メント				

事業番号	117	事業名	スポーツ・し	/クリエーシ :	ョン・文化流	舌動を行う場の扱	是供		担当課	スポ-	-ツ課
プランにおける	基本目標3	誰もが安心	して暮らすこと	ができるまちた	づくりの推進	基本方針8	高齢者、障	がいのある	人、外国ノ	人市民等^	の支援
位置づけ	施策②障	がいのある	人の社会生	三活向上の	ための取組	l					
施策概要	スポーツ教	室、ラジオ作	本操の集い	、市民歩け	歩け会、市	えて 民走ろう歩こうき	会を開催し、	障がいのむ	ある方の社会	会参画を促	!進する。
【1】事業実績	評価	① 6 年度	計画 →	②達成图	隻 → ③)実績内容 →	47年	度計画方針	†		
	(1計画			②達成度		(多実績			④方針
障がいのある方も比較 ①各種スポーツ教室	を的無理なく参加	加できる行事を	開催する。			障がいのある方も比較 ①各種スポーツ教室	を的無理なく参加	ロできる行事を原	昇催した。		
②市民ラジオ体操の身内 容 ラジオ体技		的な体力作り				②市民ラジオ体操の身内 容 ラジオ体持					
開催日 5月12日 場 所 甚目寺終 開催日 5月26日 場 所 美和中等 開催日 6月9日(場 所 市役所	総合体育館 野 (日) 学校 運動場	予外ステージ				開催日 5月12日 場 所 甚目寺終 開催日 5月26日 場 所 美和中与 開催日 6月9日(場 所 市役所	於合体育館 野 (日) ² 校 運動場 日)		17名参加		
③市民体力測定会 内 容 市民体力 開催日 9月14日 場 所 甚目寺彩	(土)		ゝ力の保持・増設	<u>É</u>	A:8割以上	③市民体力測定会 4 内容市民体力 開催日9月14日場所甚目寺総]測定会を実施 (土)		力の保持・増進	<u>É</u>	継続
④市民歩け歩け会 内 容 岐阜県郡 開催日 10月20日		T周辺(約4km)	をウォーキング			④市民歩け歩け会 内 容 岐阜県郡 開催日 10月20日	B上八幡城下町	「周辺(約4km)	をウォーキング		
⑤市民走ろう・歩こう:内容 木曽三川わせてランニング・ウォー開催日 1月26日	公園東海広場 -キング(2km、4			分の体力に合		⑤市民走ろう・歩こう会内容 木曽三川わせてランニング・ウォー開催日 1月26日	公園東海広場 キング(2km、4k	め周回コース(-		↑の体力に合	
成功した点、前	ī年から改善	善した点、診	₹題·問題 _歷	点(自由詞	E入)						
【参考指標】						【予算/実績】					
 ラジオ体操の 市民走ろう・			-			·報償費、傷害係	呆険料、委	託料、車億	昔上料、各種	種借上料	
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
0	409 人	635 人	303 人			予算(千円)	143	308	326	193	
2	229 人	雨天中止	166 人			実績(千円)	14	21	54		
【2】事業配慮						る項目に〇)					
1. 事業の企画	・立案・実	施にあたり、	男女双方	の意見を聞	引いた、また	は双方が参画	(他部署と	の連携協力	っを含む)し	<i>」</i> た。	0
2. 意思決定の	場への女性	生の参画を	促した。また	は男女均	等なリーダ-	-シップの機会を	与えた。				0
3. 事業の対象 4. 男女双方が	り用しやすい	いてい現む いよう、または	性差別の解	にナータをと 『消に向けた	工夫(情報	た。 暇発信の表現・手	段、時間帯	、育児・介	護の便宜等) をした。	0
						る影響はなかった					Ö
古光与十二十二	1 <u>_</u>		<u> </u>	7./2./							4点
事業に対する男	5	· 凹 番譲会	いらい。 いらい。 いっしい	אלאר							

事業番号	130	事業名	生活に関わる	活に関わるあらゆる相談にきめ細かに対応するための母子家庭等相談の実施 担当課 子ども福祉										
プランにおける	基本目標3	誰もが安心	して暮らすこと	ができるまちて	づくりの推進	基本方針8	高齢者、障	がいのある	人、外国ノ	(市民等へ	の支援			
位置づけ	施策③ひる	とり親等生	活困窮者/	への支援										
施策概要	母子・父子	产自立支援	員がひとり	親の自立に	こ向けた、京	北業・子育てに関	する相談・	支援をする	0					
【1】事業実績			計画 →	②達成图	芰 → ③	実績内容 →		度計画方針	+					
		D計画			②達成度		(3	実績			④方針			
母子・父子自立支援員による自立支援に向けた、就業・子育でに関する相談を実施する。 に関する相談を実施する。 み子家庭等相談件数 34件 母子家庭等就業相談件数 148件										継続				
成功した点、前	年から改善	した点、認	<mark>関・問題に</mark>	点(自由記	2入)									
【参考指標】						【予算/実績】								
●母子家庭等						母子父子自立	支援 昌配器	子 孝						
2 母子家庭等						417100								
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度			
0	335 件	180 件	239件			予算(千円)	2,441	2,434	3,338	3,461				
2	43 件	42 件	51件			実績(千円)	2,435	2,245	3,119					
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											0			
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント														

事業番号	138	事業名	性的マイノリ	Jティ(LGBT	Γ等)の人権	権に関する講座の関	開催や、啓発	物の配布	担当課	人権批	進進課
プランにおける	基本目標3	誰もが安心し	して暮らすこと	ができるまちて	づくりの推進	基本方針8	高齢者、障	がいのある	人、外国人	し市民等へ	の支援
位置づけ	施策④性	の多様性と	と性的マイノ	リティへのヨ	理解促進						
施策概要	性的指向	·性自認((性同一性)の多様性	生(SOGI)) について理解を	を深めるため	、啓発物の)配布や、記	構座を開催	する。
【1】事業実績			計画 →	②達成周	美 → ③	実績内容 →			†		
	(1	〕計画			②達成度		3	実績			④方針
・啓発パンフレット・啓発パンフレット	を配布				A:8割以上	場所:市役所 内容:ファミリ 講師:風間 参加人数:40 ・市民人権講座、 日時:令和7:	を配布 が に が に の の の の の の の の の の の の の	幹事、部会 て- (月) 時30分まで こついて こついて (大学 (大学 (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (員、職員人材育研究院教	対授)	継続
成功した点、前 「ファミリーシップ!						周知することがで	きた。				
【参考指標】						【予算/実績】					
1 情報提供お	よび講座開	催回数				市民向け啓発	と 車の 起 億				
2						中民间仍合无门	 				
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	= 15 (1=)	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
0	4回	4回	4回	1回		予算(千円)	20	0	52	0	
Q						実績(千円)	20	52	52		
【2】事業配慮						は双大が参画	(小立7等と)	D,牢+伴+力 -	-t-A+\\ I	±. :	
L						は双方が参画 -シップの機会を		ル建筑励力	1を召む) (J/⊂ ₀	U
3. 事業の対象	となる人々	やその現り	犬を男女別(こデータをと	って把握し	た。	•••••••••••				
						報発信の表現・手 る影響はなかった		、育児・介	護の便宜等)をした。	0
3. 争未の夭心	により回た	ロソドエカリ1又で	刮刀但思調	現で[町]女口)	に助反りる	がまはながりた	0				3点
事業に対する男	女共同参	画審議会	<mark>からの評価</mark>	コメント							,

別の整備	勺支援体制の	担当課	社会社	届祉課						
困難な状況	複合的に困	伏況に置かれる	ている人々^	の支援						
	−ズに対応す ・体的に実施	舌的な支援体	制を構築す	るため、属						
F度計画方	→ 47年度	ī方針								
③実績										
令和6年度以降、重層的支援体制整備事業への移行準備事業として、福祉部のほか関係各課と事務調整会議(仮称)を開催する。 現時点で事務調整会議(仮称)は実施できていない。 重層的支援体制整備事業への移行準備事業を令和7年度 以降、実施できるように検討中である。 なお、実施に向けて県主催の研修案内等について回覧し、情報 共有を行った。										
5年度	4年度	度 6年度	7年度	8年度						
0 0	0	0 0	0							
0 0	0	0 0								
	与えた。	・介護の便宜等		点						
	-0									

事業番号	158 事業名 出産後の育児に関する悩みの軽減、虐待の予防を目的とした「こんにちは赤ちゃん訪問」の実施 担当課 健康推											
プランにおける	基本目標3	誰もが安心	して暮らすこと	ができるまち	づくりの推進	基本方針10	生涯を通し	ごた女性の	こころとから	だの健康支	援	
位置づけ	施策③母	子保健事	業の充実									
施策概要	出産後の	育児に関す	⁻ る悩みの転	E減、虐待	の予防を目	的とした「こんに	ちは赤ちゃん	ℴ訪問」をタ	€施する。			
【1】事業実績	評価	① 6 年度	計画 →	②達成原	芰 → ③	実績内容 →	④7年	度計画方針	†			
	(D計画			②達成度			④方針				
支援の必要な好 在住の家庭に対 後の支援も必要 援訪問」を導入す コーディネーター、サ サポート事業) 実	し、「こんにち であるようなら 「る。 也区担当保保 がかする。	は赤ちゃん言う継続的に言	が問」を実施 が問するため 師訪問を(する。その 、「養育支 産前産後		こんにちは赤ちゃん件(内、委託99また、他市町村の母子について、こん養育支援訪問と	件)実施。)依頼によりな んにちは赤ち	あま市に里原 ゃん訪問を1	得りしている 市	5外在住の	継続	
<mark>成功した点、前</mark>	+ 0.500 E		NASS [H]ASS	к (нив								
【参考指標】						【予算/実績】						
こんにちは赤ちゃ	ん訪問実施	施件数				·委託料						
2	4左击	r 左 広	c 左 広	7左帝	0左床	X # 0 1 1	4左击	r左击	c/t in	7左帝	0左连	
0	4年度 569件	5年度 567件	6年度 535件	7年度	8年度	予算(千円)	4年度 C40	5年度	6年度	7年度	8年度	
	3091+	3071	3331				640	564	410	410		
2 【2】事業配慮	安亚年	田七井口	会画の担 っ	ち <i>に</i> トス = 177	·≖ (=± ਪ੍ਰ	実績(千円)	312	247	376			
1 事業の企画	・立案・宝倉	施にあたり	里女双方	の音見を問	引いた また	は双方が参画	(他部署と	の連携協力	7を含む) 1	,t-,	\cap	
2. 意思決定の	場への女性	上の参画を	促した。また	は男女均	等なリーダー	-シップの機会を-	与えた。	- ,		,,,,,	0	
3. 事業の対象	となる人々	やその現り	で男女別	こデータをと	って把握し	た。			# <i>a l</i> 7 - 1 - 1-	\		
4. 男女双方が和 5 事業の宝施	引用しやすい により固定	よっ、または	性差別の解 割分担音	F消に向けた 戦を間接め	上夫(情報)に助長する	報発信の表現・手 る影響はなかった。	段、時間帯	、育児・介	隻の使宜等)をした。	0	
J. J. Z.	0.7 = 1			,, C, D, J& H .	, , , , , , , , , , , ,	- 30 E 10 0/1 7/C	·				4点	
事業に対する男	女共同参	画審議会	からの評価	コメント								

事業番号	171	事業名	市の防災	会議への女	性の登用				担当課	危機智	
プランにおける	基本目標3	誰もが安心	して暮らすこと	ができるまちこ	づくりの推進	基本方針11	男女共同	参画の視点	点に立ったり	也域防災の)推進
位置づけ	施策@防	災分野にお	おける男女芸	共同参画 <i>0</i>	推進						
施策概要	防災分野に	おいて、男女	のニーズの違し	いなど、男女の	の視点に配慮	(した防災活動を進	める。防災会	徐議で災害時	における女性	目線での意	見を求める。
【1】事業実績			計画 →	②達成图		実績内容 →		度計画方針	†		
		1)計画			②達成度		(3実績			④方針
防災会議を令和	7年2月19日	日に開催予え	定。		A:8割以上	女性委員 4 人 防災会議を令	和7年2月1	9日に開催し	た。		継続
<mark>成功した点、前</mark>	年から改善	_客 した点、設	₿題・問題の	点(自由in	8人)						
【参考指標】						【予算/実績】					
● 委員の構成	比率 女	性/全体	(人)			予算を伴わない	\				
0						」、弁で什りはい					
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
0	4/24	5/24	4/24	4/24		予算(千円)	/_		/_		
2						実績(千円)					
【2】事業配慮						る項目に〇)	//u 4	2341414			
1. 事業の企画 2. 意思決定の	・立案・実施場への女性	他にめたり、 ‡の参画を	男女双方	の意見を聞	引いた、また 等なリーダー	は双方が参画 -シップの機会を-	(他部署と	の連携協力	7を含む)	<i>い</i> た。	\cap
3. 事業の対象	となる人々	やその現状	で男女別	にデータをと	って把握し	た。					<u> </u>
4. 男女双方が私	川用しやすい	よう、または	性差別の解	『消に向けた	工夫(情報	吸発信の表現・手	段、時間帯	、育児・介	護の便宜等)をした。	
5. 事業の実施	により固定	的性別役	割分担意調	域を間接的	に助長する	影響はなかった	0				〇 2点
事業に対する男	女共同参	画審議会	からの評価	コメント							4州
			- 's 61 Im								

事業番号	172	事業名	ジェンダーの)視点による	る災害対策	強化のための啓	発、連携体	制の推進	担当課	人権推	推課
プランにおける	基本目標3	誰もが安心	して暮らすこと	ができるまちて	づくりの推進	基本方針11	男女共同	参画の視点	に立った均	也域防災の	推進
位置づけ	施策42防	災分野には	がる男女	共同参画 <i>0</i>	D推進						
施策概要	ジェンダーの)視点による	る災害対策	強化のため	めの啓発や	、連携体制をつ	くる。				
【1】事業実績			計画 →	②達成月	芰 → ③	実績内容 →		度計画方象 ③実績	†		
		D計画			②達成度			④方針			
・「相互支援ネットの相互支援ネット・男女共同参画が開催日 令和場所の名の場所ののである。	ワーク)で情 週間パネル風 6年6月24日 所 1 階市日	情報共有 そ 日 (月) ~ R活動スペー	6月28日(-ス		A:8割以上	・「相互支援ネットの相互支援ネット・男女共同参画活動を対している。・男女共同参のできる。・男女共ののできる。・男女のおり、・男女のおり、・男女のおり、・男女のおり、・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・ののできる。・のの	・ワーク)で情 週間パネル 16年6月24日 k所1階市日	情報共有 髪 日 (月) ~(R活動スペー	5月28日(<u>s</u> ス		継続
成功した点、前	生から改善	制た点、語	題•問題:	5 (自由部	L 2入)						
男女共同参画活	週間パネル	展について	、令和5年	度までは美		館で実施している	た。令和6年	₣度は、庁育	舎1階市民	活動スペー	スを利用
【参考指標】						【予算/実績】					
① 啓発活動の	取組数					啓発活動にかた	いる報償費				
0	. 4	- 4	c 4- F	-	0 / / 			-	c /- /-	-	0 /- /-
	4年度 °	5年度	6年度	7年度	8年度	7/m (4 m)	4年度 	5年度	6年度	7年度	8年度
0	3	3	3			予算(千円)	74	0	0	0	
2	±==:/=		*E**	<u>⊢,- </u>	TT (=+ \\ -	実績(千円)	66	0	0		
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価(該当する項目に○) 1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画(他部署との連携協力を含む)した。 2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。 3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。 4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫(情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等)をした。 5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											〇 〇 〇 〇 4点
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント										4 <i>m</i>	

事業番号	176 事業名 女性に対する暴力をなくす運動期間について広報に掲載し、パネル展及び市施設のパーブルライトアップを実施 担当課 人権推議											
プランにおける	基本目標	4 あらゆる	暴力の根約	色のための基	基盤づくり	基本方針12	暴力の根紙	絶に向けた	意識啓発			
位置づけ	施策④3暴	力防止に関	関する啓発	・情報提供	やの推進							
施策概要	女性に対す	る暴力をなく	で運動期間](11月12日	日~25日)	について広報に掲載	載し、パネル展	及び市施設	受のパープルラ	イトアップを写	実施する。	
【1】事業実績	評価	① 6 年度	計画 →	②達成原	隻 → 🧐	実績内容 →	④7年	度計画方象	 			
	(1計画			②達成度		(3	実績			④方針	
場 所 市役i 内 容 「これ ・市施設のパープi 開催日 令和	力をなくす道 16年11月12 所1階市民 いて、性暴	軍動期間パネ 2日(火)〜11↓ 活動スペース カ?」 プ 2日(火)〜11↓	ネル展 月25日(月) ス 月25日(月)		A:8割以上	場 所 市役 内 容 「これ・パーブルライトアッ 開催日 令和 場 所 リバー 周知媒体:市公 市政	:力をなくす選 16年11月12 :所 1 階市民 いて、性暴ブ パ 16年11月12 -サイドガーデ	国動期間パオ 日(火)〜11月 活動スペー コ?」 日(火)〜11月 ン内ガーデン ト、広 報あま 市公式LIN	ドル展 月25日(月) ス 月25日(月) げリッジ、市 ^に	役所	継続	
成功した点、前なかけれる。						では美和文化会	(紀で中本)	ていた 🌣	和6年度出	- 亡全1四	k士 P 迁	
動スペースを利用							「店(大池し	ノくいバニ。 丁	/仙0 十 /又Id		ከኢሳ	
【参考指標】						【予算/実績】						
① 市公式SNS		=			., .	啓発活動にかた	いる消耗品質					
② 催事に参加		1				7,5,7,3,1,3,1	l I		c左击	7/- =	0左曲	
•	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	マケ(イ田)	4年度 0	5年度	<u>6年度</u>	7年度	8年度	
0	1,663	1,435				予算(千円)	0	0	0	0		
2 1 東米平原	20点	79点	2	보고 보고 프로	 エ <i>(=</i> 去 \ <i>-</i>	実績(千円)	0	0	0			
【2】事業配慮 1 東業の企画						<mark>ける項目に○)</mark> :は双方が参画	(仙如翠レ	の連集ねっ	hを今か)	<i>t-</i>	\cap	
2. 意思決定の3. 事業の対象4. 男女双方が利	場への女性 となる人々 引用しやすい	生の参画をかる やその現り いよう、または	促した。また そを男女別 性差別の解	:は男女均 にデータをと {消に向けた	等なリーダ- こって把握し エ夫(情報	ーシップの機会を	与えた。 段、時間帯				〇 〇 4点	
事業に対する男	- 女共同参	画審議会	ーー <mark>からの評価</mark>	コメント								

事業番号	184	事業名	担当課 危機管理課		理課						
プランにおける	基本目標	4 あらゆる	暴力の根紙	色のための基	基盤づくり	基本方針13	犯罪防止	に配慮した	環境整備		
位置づけ	施策44地	域における	防犯対策の)推進							
施策概要						を補助し、防犯:			、寿命が長	く電気料金	会も定額
【1】事業実績	評価	① 6 年度	計画 →	②達成原	隻 → ③	実績内容 →	④7年	度計画方針	 		
	(1計画			②達成度		(;	多実績			④方針
夜間における市民の安全及び犯罪被害の未然防止を図るために防犯灯設置費補助事業実施する。 A:8割以上 A:8割以上 A:8割以上 A:8割以上 成改した点、前年から改善した点、課題・問題点(自由記入)										継続	
成功した点、前	「年から改善	唇した点、診	果題・問題の	(目田語	4人)						
【参考指標】	- XII JIZ O L =	D // 17:				【予算/実績】					
① 区管理の内 ②	フィピグ J (U) LE	ロ化学				防犯灯設置費	補助金				
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
0	80.8%	82.3%	85.0%			予算(千円)	8,400	8,400	7,200	4,045	
2						実績(千円)	5,326	3,035	3,451		
【2】事業配慮	度評価	男女共同	参画の視点	による評価	」 <mark>西(該当す</mark>	る項目に〇)			·		
1. 事業の企画	i·立案·実	施にあたり、	. 男女双方	の意見を聞	引いた、また	は双方が参画	(他部署と	の連携協力	りを含む)し	た。	
						-シップの機会を-	与えた。				
3. 事業の対象 4. 男女双方が8	となる人々 川用しやすい	ヤその現り	大を男女別し 性差別の解	こナータをと 沿に向けた	っ(把握し -工夫 (情報	た。 _{服発信の表現・手}	段、時間岸	、育児・介	護の便宜等) をした	
5. 事業の実施	により固定	的性別役	割分担意識	成を間接的	ーク、(IPT IC助長する	る影響はなかった	0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	、ロル // i	及 少 及五寸,	, 20/0	0
											1点
事業に対する男	女共同参	画審議会	からの評価	コメント							

事業番号	197	事業名	こんにちは	赤ちゃん訪	問(乳児:	全戸訪問)の実	尾施		担当課	健康推	推進課
プランにおける	基本目標	4 あらゆる	暴力の根紙	色のための基	基盤づくり	基本方針13	犯罪防止	に配慮した	環境整備		
位置づけ	施策49相	談·支援体	対の充実	と周知		•					
施策概要	こんにちはぇ	赤ちゃん訪	問(乳児全	全戸訪問を	の実施する	3 .					
【1】事業実績	評価	① 6 年度	計画 →	②達成图	隻 → ③	実績内容 →	④7年/	度計画方象	†		
	(1	1)計画			②達成度			④方針			
こんにちは赤ちゃん	訪問を随時	宇実施				こんにちは赤ちゃん件 (内、委託99また、他市町村の母子について、ころ養育支援訪問と	件)実施。)依頼によりる んにちは赤ち	あま市に里帰 ゃん訪問を1	帚りしている市	が外在住の	継続
成功した点、前	年かり以書	EU/C川、id	₹起¶可越为	ii田日)	5人)						
【参考指標】						【予算/実績】					
こんにちは赤ちゃ	ん訪問実施	拖件数				·委託料					
Q		- 4- -	c 4- r+-	- 4 ÷	0 /- /-	X # 51 1	. / /	- 4 +	c /-		0 /- /-
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	7 / (4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
0	569件	567件	535件			予算(千円)	640	564	410	410	
2	±===:/==		* * * * * *	<u>⊢,- </u>	π <i>(=</i> + \/	実績(千円)	312	247	376		
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価(該当する項目に○) 1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画(他部署との連携協力を含む)した。 2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。 3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。 4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫(情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等)をした。 5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											
事業に対する男	<mark>女共同参</mark>	<mark>画番議会</mark>	からの評価	コメント							

事業番号	198	事業名	事業名 妊娠・子育てつなぐサポート事業としての要支援検討会の開催 担当課 健康推									
プランにおける	基本目標	4 あらゆる	暴力の根紙	色のための基	基盤づくり	基本方針14	被害者の実	ミ情に応じた	た切れ目のな	い支援体	制の充実	
位置づけ	施策⑮相	談·支援体	制の充実の	と周知								
施策概要	妊娠·子育	育てつなぐサ	ポート事業	としての要	支援検討:	会を開催する。						
【1】事業実績	評価	① 6 年度	計画 →	②達成原	隻 → ③)実績内容 →	47年	度計画方針	 			
	(1)計画			②達成度			④方針				
母子健康手帳交要時は支援プラン討会 月に14回支援を行っていく。	/を立案し担 回開催。必要 。	当者と情報要時、プラン変	共有をする。 変更しながら	要支援検継続的な		要支援検討会を ンシェルジュ、子ど 携し、情報共有し R6年度のケース核 152名であった。	も福祉課職 しながら必要	員が参加し な支援体制	、必要時は個	也課とも連 施した。	継続	
770 73 OTEMIC 133	18 29(2			, (HH								
【参考指標】						【予算/実績】						
① 要支援検討	会の開催	可数				専任コーディネー	・ター、アドバ	イザー費用				
2	4左击	- 左 広	c 左 広	7左帝	0左床	3122 711	1			7左击	0左曲	
9	4年度 15日	5年度	6年度	7年度	8年度	マケ (イ田)	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
0	15回	15回	14回			予算(千円)	3,603	3,614	4,332	5,038		
2 1東米平原	庄≕/ 正	田七廿日	<mark>シ</mark> 画の担。	≒ に トフ =亚/	<u>エ <i>(</i>まない</u> せ	実績(千円)	3,543	3,033	3,617			
【2】事業配慮 1 事業の企画						「る項目に○) は双方が参画	(他部署と	の連携協っ	りを含む)」	,t-,	\cap	
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画(他部署との連携協力を含む)した。 ○ 2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。 ○ ○									0			
3. 事業の対象												
L						暇発信の表現・手 る影響はなかった		、育児・介	護の使宜等)をした。	0	
J. T. K. V. C. 118		- リエルリス	H 177 1 - 767 FF	- MC[H]]XH	11-27120	200 E 10.00 7/C	0				4点	
事業に対する男	女共同参	画審議会	からの評価	コメント								